

町民グラウンド廃止

新校舎建設へ



山田小学校校舎建設予定地

3月 定例会の あらまし

令和4年3月定例会は2月15日から3月17日まで31日間にわたって開かれました。初日には、4年度の町長施政方針演説などが行われました。

また、町長提案の議案29件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2〜3ページ)

4年度の一般会計、特別会計などの予算8件は、予算特別委員会を設置し、3月14日、16日、17日の3日間にわたって集中審議し、全て原案のとおり可決しました。(5〜8ページ)
一般質問では11人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(9〜19ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。

町民グラウンド野球場を、6年度に開校予定の山田小学校新校舎の建設用地とするため、4年3月末をもって町民グラウンドを廃止とする条例が提案され、賛成多数で可決しました。

廃止後の町民グラウンドは、野球場が山田小学校新校舎建設用地となります。また、陸上競技場は中学校の校庭として利用されますが、学校活動に支障のない範囲で一般の方も利用可能です。

■議案審議の内容

反対討論(黒沢一成議員)

私は山田中学校の卒業生であるが、当時は町民グラウンドという認識はなく、中学校のグラウンド

という感じで見ていたし、そのように利用されていたと思う。小学校から中学校に進学する際、学生服の着用、スクールバスでの通学、1学年のクラス数が増えること、部活動があるという大きな変化があったが、中学校に隣接した野球場と陸上競技場があることが、中学校はすごいという大きな衝撃を受けたことを記憶している。今は少子化で学級数も減り、小学校の統合などで中学校へ進学することでの変化が少ないと感じる。東日本大震災後、陸上競技場が仮設住宅用地として利用されたことでグラウンドらしい場所がないことに慣れていると思う。町民グラウンドの廃止は、山田小学校新校舎建設のため

ということであり、新校舎の建設自体には反対ではないし、ほかの中学校の運動環境と比べれば普通になることも知れない。しかし、せっかく山田中学校が持っている、よそにはない自慢できる恵まれた環境が失われることが残念である。別な方法があると思う。自分が感じた、中学校はすごいという感動をこれから子どもたちにも感じてほしい。このことは成長の糧となる。言葉に変えることはできないと思う。このことから、町民グラウンドの廃止に反対する。

※賛成討論なし
(賛成11、反対2)